

今年すでに偽造銀行券の発見枚数は5,126枚

警察庁は19日、今年6月16日現在集計の、4月末日までに警察が届出などにより押収した偽造通貨の発見枚数が1万円券：2,114枚、5千円券：295枚、2千円券：85枚、千円券2,632枚、計5,126枚、5百円貨幣が510枚あったと発表した。

平成10年以降現在までの偽造通貨の発見枚数は次のとおり。

| | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年* |
|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 1万円券 | 752 | 2,346 | 2,394 | 3,207 | 6,815 | 2,114 |
| 5千円券 | 8 | 1,051 | 1,671 | 1,274 | 754 | 295 |
| 2千円券 | - | - | 2 | 4 | 5 | 85 |
| 千円券 | 47 | 25 | 190 | 3,128 | 12,637 | 2,632 |
| 偽造銀行券合計 | 807 | 3,422 | 4,257 | 7,613 | 20,211 | 5,126 |
| 5百円通貨 | 358 | 7,336 | 4,747 | 3,232 | 2,092 | 510 |

平成15年の数値は、4月末日までに警察が届出などにより押収したとして警察庁に報告のあった枚数（6月16日現在）

警察庁によると、平成11年以降の偽造1万円券および偽造5千円券の増加は、主にパソコン・プリンターなどにより偽造されたものの増加によるという。平成13年以降の偽造千円券の増加は、主に両替機、飲料水の自動販売機などを対象に行使された特異な偽造千円券行使事件の発生によるものだという。

(2003・6・19)